取付説明書

Printed in Japan　2014/04

274-0618-00

ZCP-135
ZCP-136
ZCP-137

車載用 TV ダイバーシティアンテナ
（地上デジタル TV 用フィルムタイプ）

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。
●取り付けおよび結線を行う前に、この取付説明書をよくお読みのうえ、安全に正しく作業してください。
●本説明書は取扱説明書とともに大切に保管してください。

<お客様へのお願い>
本品の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。
お買い上げの販売店での取り付けをおすすめします。

<販売店様へのお願い>
取り付け完了後、この「取付説明書」をお客様にお渡しください。

本品はクラリオン製地上デジタル TV チューナーおよび AV-Navi システム用地上デジタル TV アンテナです。

※以下のモデルには接続できませんのでご注意ください。

・DTB160　・DTX760　・NX501　・NX502　・NX702　・NX702W

※同梱されているアンテナ数量は、ご購入の機種により異なります。
　アンテナ部品の構成内容をご確認お願いします。

クラリオン株式会社

〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7番地2
Clarion ホームページ　http://www.clarion.com
お問い合わせはお客様相談室へ
フリーダイヤル　0120-112-140
（土・日・祝・祭日を除く　9:30〜12:00、13:00〜17:00）

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	TEL.

仕　様

●アンテナ1本
- 総合利得　：11dB
- 周波数範囲　：470〜710MHz
- 出力インピーダンス　：50Ω
- 貼付場所　：フロントウインドウ（車内側）
- 質　　量　：約50g（取付説明書以外の合計）
- 電源電圧　：DC8V
- 消費電流　：40mA以下

アンテナ構成部品

構成部品	ZCP137 ワンセグ対応機器用	ZCP136 地上デジタル TV（フルセグ）対応機器用	ZCP135 地上デジタル TV（フルセグ）対応機器用
①フィルムアンテナ	1	2	4
②アンテナケーブル（4m）	1	2	4
③ケーブルクランパー	3	6	8
④クリーナー	1	1	1
質量	※約 50g	※約 100g	※約 200g
消費電流	35mA	35mA × 2	35mA × 4

※取付説明書以外の合計質量

①フィルムアンテナ

③ケーブルクランパー

②アンテナケーブル（4m）

④クリーナー

※フィルムアンテナ、アンテナケーブルに
　左右の指定はありません。

⑤取付説明書（本紙）

フィルムアンテナの構成

●フィルムアンテナは、保護フィルムとセパレーターの間にはさまれています。

●アンテナケーブル

安全に正しくお使いいただくために

● 取り付け作業の前にこの「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
● お読みになったあとは、いつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

絵表示について
この「取付説明書」への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警 告
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注 意
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中には具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

❶記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

■取り付け上のご注意

⚠警 告

● フロントウインドウ以外には貼り付けないでください･･･
リアウインドウなど、ガラスにプリントされている熱線、AM、FM アンテナの上に本アンテナを貼り付けると熱線が切れたりガラスが割れる原因となります。

● ケーブル類は、取り付け方法の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく･･･
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

⚠注 意

● 必ず付属の部品を指定通り使用する･･･
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして、事故や故障などの原因となることがあります。

● 正規の接続をする･･･
火災や事故の原因となることがあります。

● 車体やねじ部分、シートレールなどの可動部に配線をはさみこまない･･･
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

● アンテナおよびケーブル類は確実に固定する･･･
外れて事故や怪我の原因となることがあります。

● 天気の良い日中に取り付ける･･･
雨、霧など湿気が多いときは、両面テープの接着力が低下し、外れて事故や怪我の原因となることがあります。

● 取り付け後、24 時間以内は絶対に水気（水、雨、霧、雪など）にあてたり、無理な力を加えない･･･
両面テープの接着力が低下し、外れて事故や怪我の原因となることがあります。

● 気温が低いときは、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチを ON にするなどしてフロントウインドウを暖める･･･
両面テープの接着力が低下し、外れて事故や怪我の原因となることがあります。

● ケーブルクランパーの両面テープは、指でさわったり貼り直したりすると、接着力が弱まるので、取り扱いには十分注意する･･･
両面テープの接着力が低下し、外れて事故や怪我の原因となることがあります。

● 貼り付ける前に、付属のクリーナーでフロントウインドウの汚れを十分に落とす･･･
アンテナがガラス面に貼り付かなくなります。

● アンテナ貼り付け直後は、アンテナにガラスクリーナーなどを吹き付けたり、アンテナを直接拭いたりしないでください。また、時間経過後にアンテナを直接拭く際は、やわらかい布などを使用して傷が付かないよう注意してください。

● お手入れの際は、アンテナケーブル、フィルムアンテナをひっかけないようにご注意ください。

取り付けのご注意

●**車種によって、取り付けられない場合があります。**
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。最寄りのディーラーにお問い合わせください。

●**車種によっては、フロントピラーやサンバイザーを取り外すと作業が容易に行える場合があります。なお、フロントピラーの取り外しならびに復元は、必ずカーディーラーまたは専門技術のある方に依頼してください。**

●**フロントウインドウの指定位置・寸法内に貼り付けてください。**
- 本商品は**フロントウインドウ専用**です。それ以外の場所（リアウインドウなど）には貼り付けないでください。
- 保安基準*に適合させるために、本書の「貼付位置について」および「貼付許容範囲」をよくご覧になり、正しく貼り付けてください。貼付許容範囲をはみ出して貼り付けた場合、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。

*保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条細目告示第39条および別添37をいいます。

●**アンテナを接続する機器の取付説明書も併せてご覧ください。**

準備するもの

次のものを用意してください。
- 樹脂ヘラ
- マスキングテープ
- ハサミ
- やわらかい布など

貼り付ける前に

本紙は左側（フロントピラー・フルセグ）の取り付け方を説明しています。
右側は対称の作業になります。

1 *フロントウインドウの汚れを落とす*

1 フロントウインドウ（内側）のフィルムアンテナを貼り付ける場所を、付属のクリーナーで拭いて十分に汚れを落として乾かしてください。
- 貼付面が完全に乾いていない状態では貼り付かない恐れがあります。フィルムアンテナ・アンテナケーブルを貼り付けるガラス面は十分に乾いた状態にしてから作業を行ってください。
- フィルムアンテナ・アンテナケーブルを貼り付ける面が油分等で汚れていると貼り付きません。また、冬場など気温の低いときは、デフロスター・ドライヤー等でガラス面を暖めてから作業を開始してください。またフィルムアンテナ・アンテナケーブル自体も暖めてください。
- ワンセグモデルのアンテナ貼付推奨位置は、フロントピラー（左）となります。

貼付位置について

●運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず、下図の「貼付許容範囲」の位置に貼り付けてください。許容範囲外に貼り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。

●左ハンドル車に貼り付ける場合も、右ハンドル車と同様に貼り付けてください。

●アンテナは、フロントウインドウの車内側に貼り付けてください。それ以外の場所には貼り付けないでください。

●アンテナは、車検証・点検シールなどと重ならないように貼り付けてください。

●アンテナは、ETC 受光部、他の TV アンテナなどから 100mm 以上離して貼り付けてください。

●フィルムアンテナの給電部およびアンテナケーブル給電端子部は、セラミックライン内に貼り付けないでください。ショートなど、故障の原因となります。

貼付手順

本紙は左側（フロントピラー）の取り付け方を説明しています。右側は対称の作業になります。

2 フィルムアンテナ・アンテナケーブルの貼付位置を決める

1 フィルムアンテナ・アンテナケーブルの貼付位置は、下図の「貼付許容範囲」を参照して位置を決めてください。

2 マスキングテープなどでフィルムアンテナおよびアンテナケーブルを仮固定し、車内の内張り（フロントピラーなど）に当たらないことを確認してください。

3 アンテナケーブルを引き回して機器まで配線可能なことを確認してください。

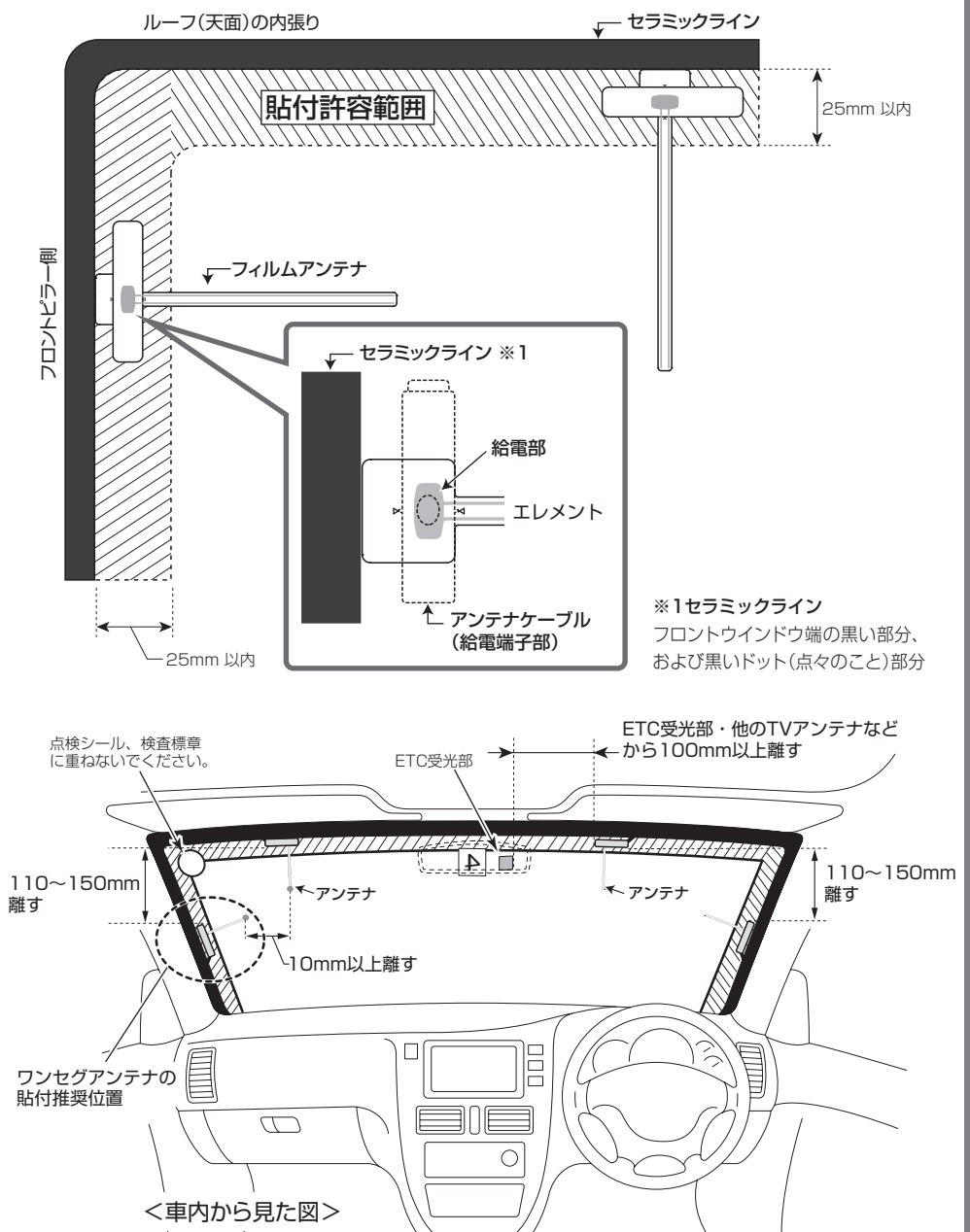
ご注意

• フィルムアンテナを折り曲げないように、注意して取り扱ってください。

■貼付許容範囲

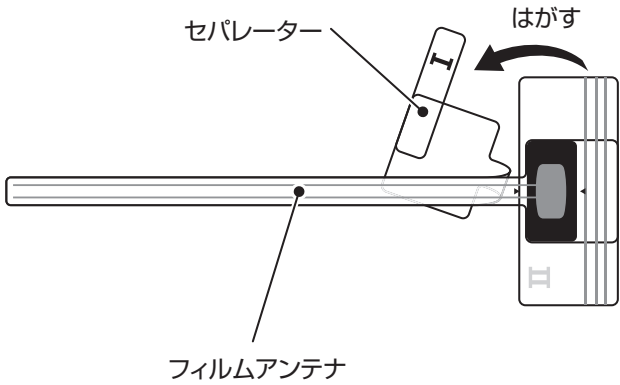
●フィルムアンテナの給電部およびアンテナケーブル給電端子部は、セラミックライン上または、内張りに重ならないように必ず貼付許容範囲内（▨部）に貼り付けてください。

●セラミックラインが無いお車の場合、フロントウインドウ端部から25mm 以内が貼付許容範囲です。

●貼付許容範囲をはみ出して貼り付けた場合、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。

3 フィルムアンテナを貼り付ける

1 【Ⅰ】のタグを持って、セパレーターをはがし、決めた位置に貼り付けてください。

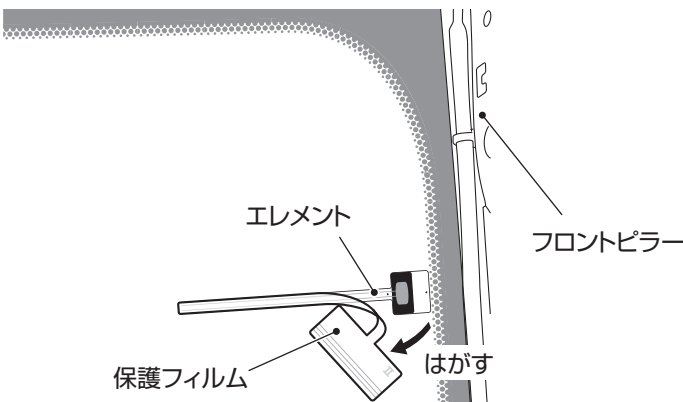
ご注意

• フィルムアンテナの貼り直しは、粘着力が弱くなる他、アンテナ自体が破損する恐れがあるためお止めください。
• 本品は、ドライ貼付タイプとなっているため、霧吹きなどで吹き付けて貼り付けしないようにお願いします。

2 フィルムアンテナ全体をなぞるようにやわらかい布などを使用して、ガラス面に密着させてください。

ご注意

• 加圧が不足していると透明フィルムをはがす際にエレメントがはがれたり断線する恐れがあります。また、樹脂ヘラを使用する場合、エレメントを傷つけないよう十分注意して作業を行ってください。

4 保護フィルムをはがす

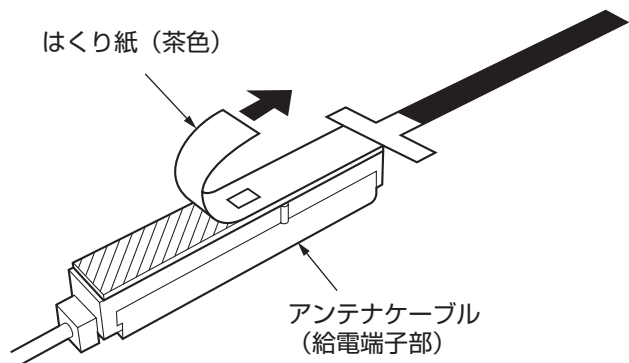
1 【Ⅱ】のタグを持ち、ウインドウ側にエレメントが残っていることを確認しながら、ゆっくり保護フィルムをはがしてください。

ご注意

• 保護フィルムをはがした後は、給電部に手を触れないでください。汗などの汚れで接触不良の原因となります。

5 アンテナケーブルを給電部に貼り付ける

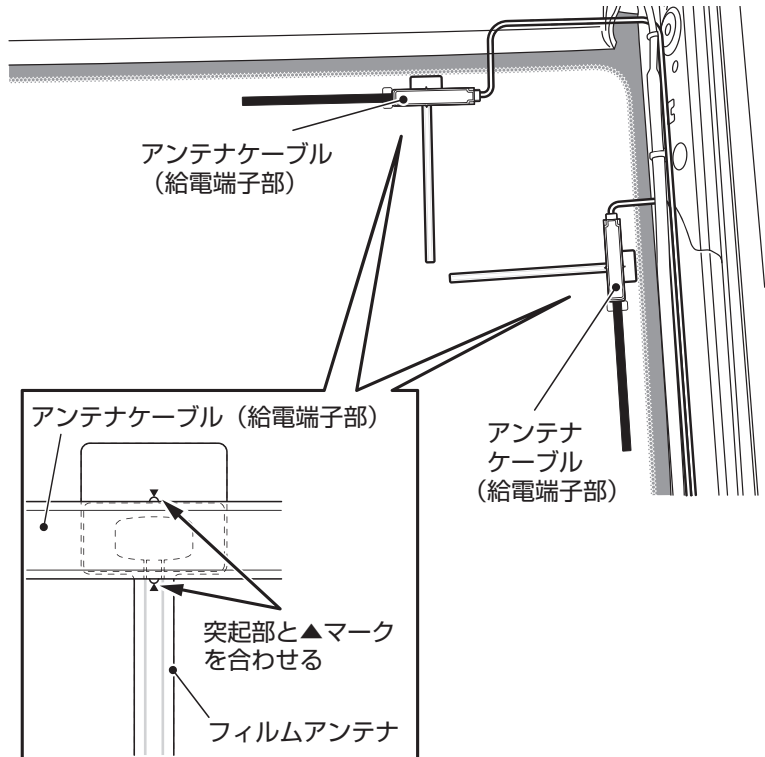
ご注意

• アンテナケーブルの貼り直しは、粘着力が弱くなる他、アンテナ自体が破損する恐れがあるためお止めください。

1 アンテナケーブル給電端子部裏面のはくり紙をはがしてください。

2 フィルムアンテナ給電部にアンテナケーブル給電端子部を貼り付けてください。

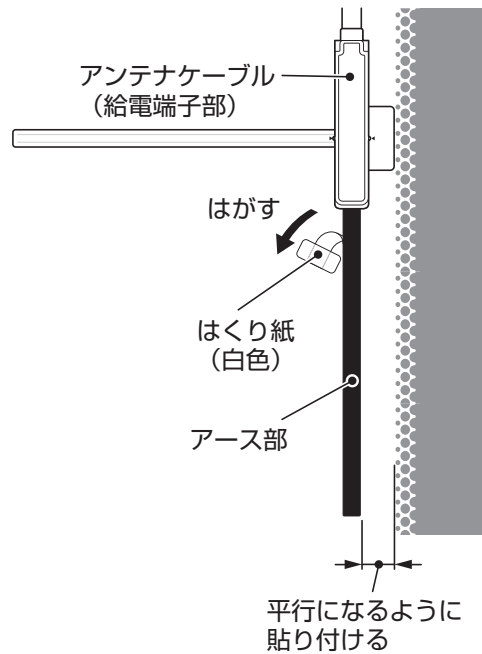
• アンテナケーブル給電端子部にある突起とフィルムアンテナの ▲ を合わせ平行にアンテナケーブル給電端子部を貼り付けます。

ご注意

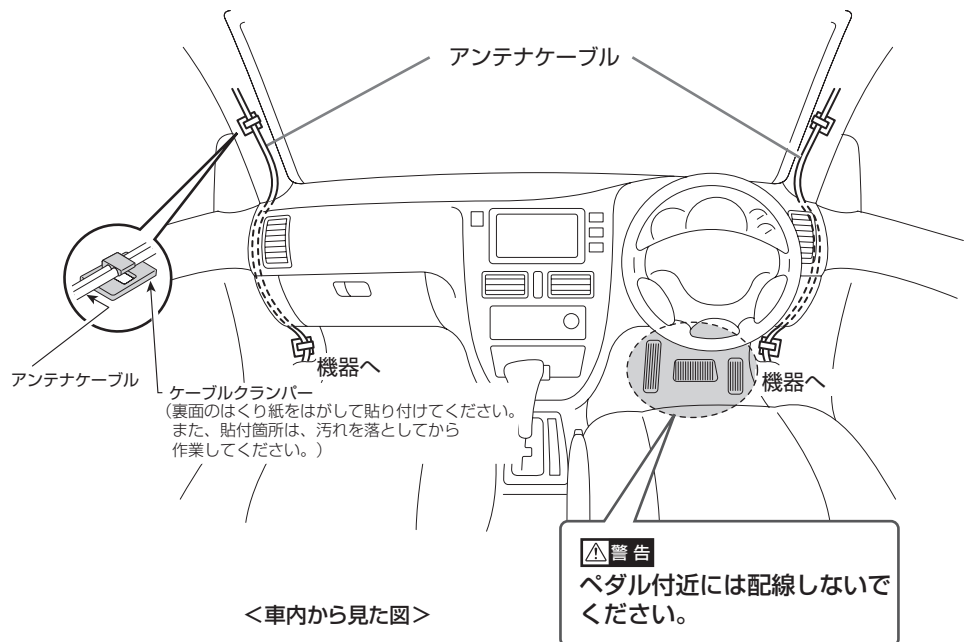
• 浮きがないように強く押しつけてください。また、フロントガラス外側からガラス面に密着されていることを確認してください。

3 ガラスにアース部を貼り付けてください。

• アース部のはくり紙（白色）をはがしながらアース部とセラミックラインが平行になるようにフロントウインドウに貼り付けてください。

ご注意

• 接着面には触れないでください。
• アンテナケーブルのアース部は貼り付けの際、やわらかい布などを使用してガラスに密着させてください。

6 アンテナケーブルを固定する

1 ケーブルクランパーで固定しながらケーブルの配線を行ってください。

• アンテナケーブル給電端子部に負荷がかからないように、給電端子部を押さえながら作業を行ってください。

⚠警 告

• フロントピラーにエアバッグが装着された車両には、エアバッグ動作の妨げとならない位置へ配線を行ってください。
• 運転の視野を妨げないように、ケーブルを配線してください。
• ケーブル類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。その際ケーブルは、曲げ部がΦ14mm（曲げR7mm）以上となるようにまとめてください。
• アンテナケーブルをピラー内などに押し込む場合は、樹脂ヘラなどを使用してください。（先端部分が鋭利な工具などを用いて強い力で無理に押し込むとアンテナケーブルが破損（断線）する可能性があります。）

7 アンテナ端子を接続する

1 アンテナ端子を機器のTVアンテナ端子へ接続してください。

• 接続する機器の説明書も併せてご覧いただき、正しい位置に接続してください。TVアンテナ入力端子はロック付きです。端子を機器から外す際は、ロック部を押しながら外してください。

ご注意

• アンテナ貼り付け直後は、アンテナにガラスクリーナーなどを吹き付けたり、アンテナを直接拭いたりしないでください。また、時間経過後にアンテナを直接拭く際は、やわらかい布などを使用して傷が付かないよう注意してください。
• お手入れの際は、アンテナケーブル、フィルムアンテナをひっかけないようにご注意ください。